

1 はじめに

3000m級の山々を有する南アルプスに育まれた豊かな自然環境。その自然の恵は、私たち静岡市民の生活の源となっています。

南アルプスは2014年6月、自然環境と周辺地域の歴史・文化が世界に認められ、ユネスコエコパークに登録されました。そして、2024年6月には登録10周年を迎えます。

これまでの10年を振り返るとともに、次の10年間は、ユネスコエコパークの理念に基づき、南アルプスユネスコエコパークの自然環境の保全と持続可能な利活用の調和を、より発展させることに尽力します。

そのために、井川地域に、南アルプスの自然の雄大さと井川地域の歴史と文化を発信、継承する拠点を設置します。

2 設置場所

エコパーク内の井川地域の人の活動の拠点ですが、その地域の中心機能のある本村地区を選定しました。この地域のシンボルのひとつでもある、旧井川小学校(2016年に閉校)を活用し、ミュージアムとしてリニューアルさせます。

3 井川地域からの要望

ここに来れば井川のことをすべて
わかる施設を

様々なバックグラウンドを持った祖先が移住して始まった井川地域。雄大な南アルプスの自然の恵みをいただきながら続いてきた暮らし。

自然と共存してきた歴史や特有の文化などを感じることができ、井川のことを好きになってもらえるような施設を。



みんなが楽しみをつくりあげ、地
域が元気になる施設を

地域の人が集まり、歴史や文化を披露したり、マルシェを開催したり。来訪者が夢中になり、また来たいと思ってくれる施設を。

施設の中だけでなく、井川地域特有の商品や体験などとおして、地域全体が活性化するような施設を。



4 ミュージアムの使命

「ユネスコエコパーク」と「SDGsローカルハブ都市」というモデル地域として「生態系の保全と持続可能な利活用の調和」の実践状況を世界へ発信します。

ユネスコエコパーク

「豊かな生態系を有し、地域の自然資源を活用した持続可能な経済活動」に取り組んでいる状況を発信



SDGsローカルハブ都市

SDGsの目標の実現に取り組んでいる状況を発信



5 ミュージアムの目指すもの

「共感でパートナーシップ(共働)の輪が広がる」

ミュージアムでユネスコエコパークとSDGsの理念の大切さとその実現のために行動することの必要性を体感してもらい、自分もパートナーの一人として、「生態系の保全と持続可能な利活用の調和」に貢献するために行動しようという共鳴・共感・共働の輪が広がるようにします。

来館者における意識・行動の変化

体感

ミュージアムの展示を通じて、エコパークとSDGsの理念の大切さを体感する。

意識の変化

南アルプスの豊かな自然環境の魅力を体感し、南アルプスに対する意識が変わる。

自然環境の変化など、自分事としてとらえる。

行動変容

「生態系の保全と持続可能な利活用の調和」に貢献するために行動する。

6 ミュージアムの発信方法

楽しく「知る」「体感する」「共感する」「パートナーに加わろうと思う」の4つの構成

展示別コンセプト

知る

体感する

共感する

パートナーに加わろうと思う

発信の方法

南アルプスの成り立ち、自然の恵みが育む文化などを伝えます。

南アルプスの豊かな自然環境や、自然の恵みに育まれた人の営み、人と自然との共生の大切さを伝えます。

環境保全団体の活動報告や、高校生による保護セミナーの様子などを伝えます。

保全活動に取り組む地域、団体、学校等の思い描く夢や希望、明るい未来を伝えます。

ポイント

丁寧な解説と合わせ、楽しんで学べるような仕掛けをつくります。

デジタル技術を活用し、マルチスクリーン映像などによるイマーシブ体験(没入体験)を提供します。

歴史や文化的な意味を持つ展示物にストーリーを持たせ、深い印象を与えます。

活動する団体等の思いに共感し、パートナーとして参加につながるような仕掛けをつくります。

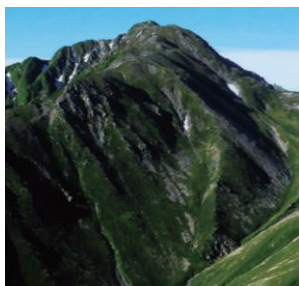
専門家や研究者等と連携し、高い専門性を確保

7 展示内容

豊かな自然環境がもたらす恵みにより育まれた暮らし

地形や気候を活用したエネルギー

① 南アルプスの自然を知り、体感する



② 井川地域の自然と調和した暮らし方を知る(注:民具は民具を見せるのではなく、自然と調和した暮らし方を知るため)

③ 自然と調和した食文化を知り、味わう(SDGsガストロノミーツーリズムを推進)

④ クリーンエネルギー(水力発電)の仕組みを知る



エコパークとして、世界に認められた豊かな自然の成り立ちや、そこに育まれた歴史と文化に対する理解を深める。

SDGsローカルハブ都市として、国連から、SDGsの普及、達成に向け、世界各国の都市をリードし、情報発信の役割を担う。

8 建設と運営に関するパートナーシップの呼びかけ



地域、民間事業者、学校、行政など、あらゆる主体にパートナーシップを呼びかけ、ユネスコエコパークの理念やSDGsの大切さに共感いただき、社会の大きな力を活用させていただく。

みんなの力で魅力を高めるミュージアム

現物による協力

- 展示品や展示内容について提供をいただく。

人的協力

- 地域おこし協力隊や地域活性化起業人等の仕組みを使いながら、人材を派遣いただく。

金銭的協力

- 個人版ふるさと納税、企業版ふるさと納税により、整備費と運営費を支えていただく。

学術的協力

- 南アルプス財団、ふじのくに地球環境史ミュージアム等に研究と展示で協力をいただく。

社会の大きな力

ミュージアムの「共創」 みんなの力で魅力を高める

エコパークとSDGsの理念の実践の協働